

2011年“くるみん”認定企業のご紹介（鳥取労働局第4号）

国立大学法人 鳥取大学

所在地：鳥取市

業種：教育・学習支援業

労働者数：2,585人（平成23年4月22日現在）



認定日：平成23年5月20日

行動計画の内容

◆計画期間

平成20年4月1日～平成23年3月31日
(3年間)

◆目標・対策

1. 育児短時間勤務制度の利用促進。
2. 育児休業取得水準
女性職員：行動計画間中の資格取得者の90%以上
男性職員：第一期(1名)以上
3. 年次有給休暇等各種休暇・休業制度の利用促進、休暇制度等の内容の見直し。
4. 業務効率化、能率化、人員の適正配置を図り、所定外労働の縮減を行う。
5. 次世代育成に関わる職員への人事上及び業務遂行上の配置を行う。

取組の状況

- ◆行動計画の目標を達成。
- ◆短時間勤務制度の利用促進が図られ、平成22年度には前年の2倍となった。
- ◆定時退庁日における定時退庁の徹底など、職員の意識改革について対策を講じ、所定外労働の縮減効果が見られた。
- ◆年次有給休暇の取得促進のため、夏季年次有給休暇取得キャンペーンを実施。各部署ごとに取得計画表を作成し、計画的取得を促した。また、年5日の範囲で時間取得を可能とした。
- ◆出産・育児等に関する制度の周知を図るため、ホームページに常時各種休暇制度を掲載した。
- ◆職員が働きやすい職場をつくるために、平成22年4月に、医学部附属病院に「ワークライフバランス支援センター」を設置し、仕事と家庭の両立の推進に取り組んでいる。

行動計画期間中の 男性の育児休業等取得状況

育児休業・・・2名

行動計画期間中の 女性の育児休業取得率

112.8%（休業取得者176名／出産者156名）

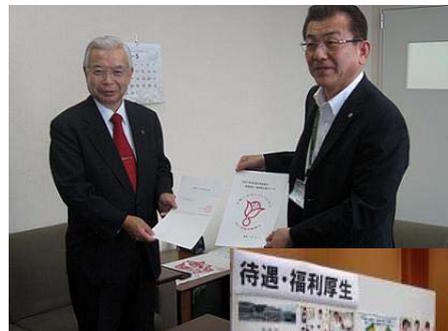
☆受賞のコメント

本学では、子育てをしている教職員も含めて、全ての教職員が働きやすい職場環境づくりを目指しています。

今後も、仕事と私生活の両方を充実させることができるよう支援を続け、全ての教職員がその個性と能力を十分に発揮できる環境づくりを目指し、生き生きとした大学として社会に貢献して参ります。

☆くるみんの活用状況

ホームページ・求人広告への掲載、名刺への印刷を始め、医学部附属病院職員募集合同説明会ではポロシャツにプリントする等、子育て支援に積極的に取り組んでいることを対外的にアピールしています。



左 国立大学法人鳥取大学
能勢学長

右 鳥取労働局 森田労働局長

